

住宅用火災警報器は置かなければなりません！

なぜ住宅に
「火災警報器」
が必要なの？

住宅火災による死者の多くは「就寝中の逃げ遅れ」によるもので、一方が一火災が発生したときには、早期に発見し避難することが重要となり、その手助けとなるのが住宅用火災警報器です。

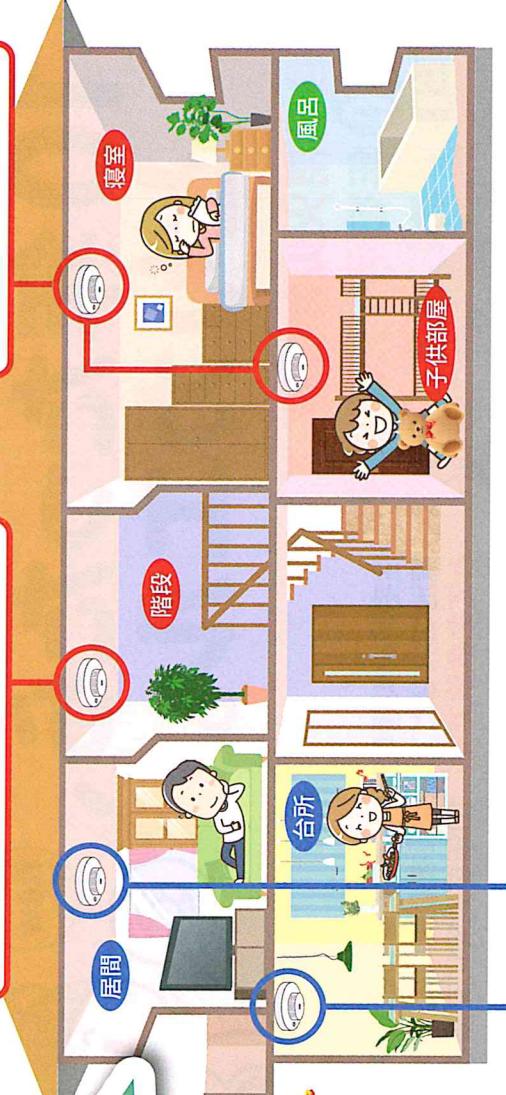
火災警報器は
どこに取り付けるの？

義務設置（煙式）

2階建で1階以外に寝室がある場合には、階段の天井部分に設置が必要です。

義務設置（煙式）

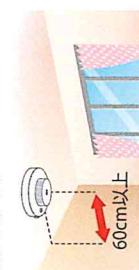
寝室には警報機を取り付ける必要があります。



※台所や居間には設置義務はありませんが、設置をおすすめします。

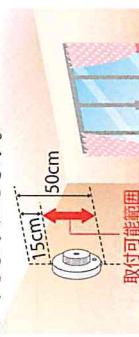
天井の場合

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



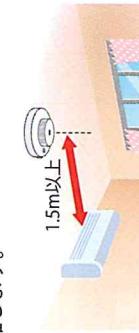
壁の場合

天井から15～50cm以内に火災警報機の中心がくるようにします。



エアコンなどの吹き出し口付近の取り付けは…

換気扇やエアコンなどの吹き出し口から1.5m以上離します。



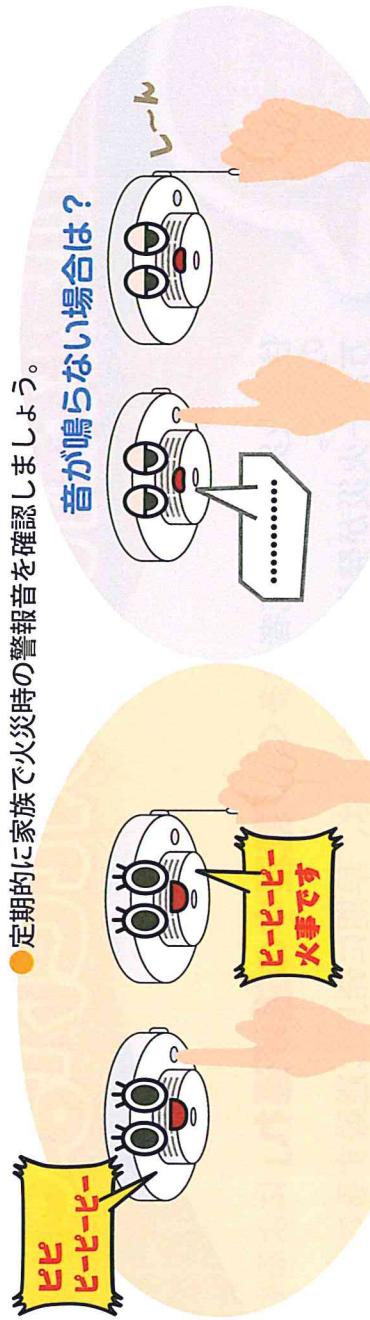
住宅用火災警報器の取付けを支援します

管内の「住宅用火災警報器を設置することが難しい」世帯について、無償で取付け支援を実施しています。
(ただし、住宅用火災警報器は電池式とし、事前に準備する必要があります。)
詳しくは比企広域消防本部へお問い合わせください。
(問合せ先 裏面参照)



定期的に作動確認し、音を聞きました。

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。



●定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

音が鳴らない場合は？

●正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

*警報音はメーカーや製品により異なります。

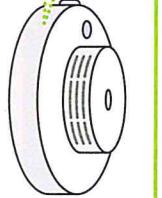
- 電池がきちんとセットされているかご確認ください。
- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

10年たつたら、とりカエル。

住宅用火災警報器は、
**10年を目安に交換を
おすすめします！**

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や
電池切れなどで、火災感知しなくなることがあります。
とても危険です。10年を見安に交換しましょう。

●本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。



●取扱説明書は、大切に保管してください。

●

記入例

設置年月 20××年4月

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●



消防署や市町村の職員が、
直接住宅用火災警報器等の訪問販売や点検をする事はありません。
不安や疑問に感じたら、キッパリ断りましょう！

悪質な訪問販売や点検にご注意！

問い合わせ
問い合わせ

住宅用火災警報器に関しては、比企広域消防本部予防課、
最寄りの消防署へお気軽にご相談ください、
比企広域消防本部 予防課 TEL.0493-23-2268

